



米・臨界前核実験に抗議

大阪府枚方市がバイデン大統領宛に抗議文

米国がネバダ州において、2021年6月と9月に臨界前核実験を行っていたとの情報を受け、枚方市は4月14日、アメリカ合衆国ジョー・バイデン大統領宛の抗議文をアメリカ大使館へ送った。ロシアがウクライナ侵攻において核兵器の使用を示唆するなど国際社会の平和と秩序が脅かされる中で明らかとなった行為に対するもの。アメリカ合衆国に対し、核廃絶に向けたあらゆる核実験の廃止に加え、核兵器の廃絶と恒久平和の実現に向けた主導的な役割を求めている。枚方市は日本非核宣言自治体協議会の副会長市でもあり、これまでも世界中で核実験の実施が確認されれば即時に実施国に対し抗議文を提出している。

★市は、これまでも世界中で核実験の実施が確認されれば、即時に実施国に対し抗議文を送付している。核実験に対する抗議は2021年1月以来で、今年3月にはロシア連邦のウラジーミル・ウラジーミロヴィチ・プーチン大統領宛に核兵器の使用を示唆したことに対する抗議文を送っている。

★市は、1982年に府内で初めて「非核平和都市」を宣言した自治体であり、また長年、日本非核宣言自治体協議会の副会長市を務めている。

★送付した抗議文は別紙のとおり。

<お問い合わせ>

市長公室 人権政策室 ☎072-841-1259、ファクス 072-841-1700

抗議文

2022年4月14日

在本邦アメリカ合衆国大使館気付

アメリカ合衆国大統領

ジョー・バイデン 閣下

日本国 大阪府 枚方市長 伏見 隆

貴国がネバダ州において、2021年6月と9月に臨界前核実験を実施したとの情報に接し、非常に強い憤りを感じています。

ロシアがウクライナ侵攻における核兵器使用を示唆するなど、国際社会の平和と秩序が脅かされている中で、明らかとなった貴国の行為は、世界中の人々に不安や恐怖を与えるものです。

また、人類の生存を脅かす究極の兵器が核兵器であるとの認識に立ち、すべての核の廃絶を求め、その開発にかかるあらゆる実験に抗議いたします。

貴国におかれましては、今後のあらゆる核実験の中止措置を行い、世界の大国として真摯に核軍縮に取り組み、「核兵器のない世界」の実現に向けた主導的役割を果たされるよう重ねて強く求めます。